

## ○ 平成30年度事業報告

### ◇ 当協会の概況、組織等

#### I 当協会の概況

当協会の目的は、海上交通の安全に寄与することであり、その目的を達成するため、海難防止に関する事業を実施した。具体的には、平成30年度事業報告に記載のとおりであるが、東京湾をはじめ茨城県、千葉県、神奈川県及び静岡県沿岸海域において、事業計画に則り、調査研究事業及び海難防止活動事業等を実施した。

#### II 組織等

##### 1 会員（平成31年4月1日現在）

正会員：189 賛助会員1 特別会員：41

##### 2 主たる事務所

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通り3丁目9番地 横浜ビル301号室

電話 045-212-1817 Fax 045-212-5591

Mail [yokohama@toukaibou.or.jp](mailto:yokohama@toukaibou.or.jp)

URL <http://www.toukaibou.or.jp>

##### 3 役員（平成31年4月1日現在）

理事：27人（うち常勤2人）

監事：2人（非常勤）

##### 4 職員（平成31年4月1日現在）

21人（うち常勤18人、非常勤3名）

## ○ 平成30年度事業報告

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

### I 通常理事会・定時社員総会等

#### 1 理事会

- (1) みなし理事会平成30年4月16日付けで会長（代表理事）稲垣 孟から定第39条（決議の省略）に基づき、「平成29年度事業報告及び計算書類等の承認について」及び「役員を選任について」の提案が行われた。

同提案について、理事の全員から書面により同意の意思表示が行われ、監事の異議もなかったことから、平成30年4月26日付で同提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなされた。

- (2) 平成30年度 第1回通常理事会（平成30年5月21日開催）  
議題 平成30年度会長等の選定について
- (3) 平成30年度臨時理事会（平成30年11月20日開催）  
議題 公益社団法人東京湾海難防止協会入会金及び会費規程（平成22年5月10日東海防第76号）の一部改正について  
報告・連絡事項  
平成30年度の会長、理事長及び専務理事の職務の執行状況について  
平成31年度（公財）日本海事センターへの補助金の申請について
- (4) 平成30年度 第2回通常理事会（平成31年3月29日開催）  
議題 ① 平成31年度事業計画（案）について  
② 平成31年度収支予算（案）について  
③ 長期借入金について  
④ 平成31年度定時社員総会の日時及び場所並びに目的である事項の決定について  
報告・連絡事項 平成30年度の職務の執行状況について他2件

#### 2 定時社員総会

- 平成30年度 定時社員総会（平成30年5月21日開催）  
議題 ① 平成29年度事業報告及び計算書類等の承認について  
② 長期借入金の承認について  
③ 役員を選任について  
報告・連絡事項 平成30年度事業計画及び収支予算の報告について

### II 平成30年度事業実施の概要

#### 1 調査研究事業（公益目的事業1）

国、地方公共団体、企業等から、次の7件の委託を受けて委員会を設置するなどして所要の調査及び検討を行った。

- ① 茨城港常陸那珂港区（中央ふ頭地区）船舶航行安全対策調査業務
- ② 川崎港臨港道路東扇島水江町線航行安全検討業務
- ③ 東京港臨港道路（南北線）船舶航行安全対策検討業務
- ④ 平成30年度13号地新客船ふ頭整備に係る船舶航行安全対策検討調査
- ⑤ 平成30年度新海面処分場建設工事船舶航行安全対策調査
- ⑥ 平成30年度御前崎港における大型客船船舶航行安全検討業務
- ⑦ 横浜港新本牧ふ頭整備事業に係る船舶航行安全調査委託

## 2 海難防止活動事業（公益目的事業2）

### （1） 海の安全運動の推進

茨城県から静岡県にかけての8つの地区の海の安全運動推進団体等で構成する「海の安全運動推進連絡会議」により、次のとおり運動等を実施した。当協会は、同会議の事務局として運動計画の策定等をはじめ以下の各項目の事項（下記（2）を含む。）について、諸作業を実施し、同会議の中心となって海の安全運動を推進した。

- ① ゴールデンウィーク、夏季（7月、8月）に周知啓発のための運動を実施
- ② 「内航船における荒天時東京湾避泊の手引き」を一部修正（管制一元化に伴う修正）し、日本内航海運組合総連合会に傘下団体に所属する船舶への配布を依頼するとともに、第三管区海上保安本部を通じて管内各保安部署への配布を依頼した。
- ③ 平成29年度海の安全運動に功労のあった次の3団体を表彰した。  
東京夢の島マリーナ  
横須賀エフエム放送株式会社  
御前崎マリンクラブ
- ④ 安全啓発のための横断幕「水上オートバイ安全運動実施中」を作成し、湘南海上保安署に配布した。
- ⑤ 平成31年度「海の安全運動」で使用する海難防止啓発ポスター及びグッズを作成した。
- ⑥ 東京湾における管制の一元化及び東京湾湾口海域における経路指定の開始に伴い、「SAFETY TOKYO BAY」（東京湾を安全に航行するために）のリーフレットを見直しの上、作成・配布するとともに、後記のとおり、東京湾湾口海域における経路指定周知用のリーフレットも別途作成・配布した。

### （2） 海の安全運動の強化

- ① ウォーターアクティビティの初心者を対象にした安全な活動に資する情報を提供するリーフレットを作成した。
- ② ウォーターアクティビティ愛好者等に対する安全啓発のため、平成30年度に活動の現場における海の危険情報や安全情報を提供するためのウェブサイト「Coast-Navi」を作成し、平成31年4月1日に公開した。

- （3） 東京湾湾口海域は、東京湾に出入する船舶がふくそうし、海難発生の危険性が高い海域であることから、平成28、29年度において検討会を開催し、東京湾湾口海域における整流方策を検討して取りまとめたところであるが、平成30年4月、検討会に参加した関係13団体の連名により、第三管区海上保安本部長に対し、整流方策の早期実現についての要望書を提出した。

本件要望については、海上保安庁が平成31年1月31日、整流を実施するため、海上交通安全法に基づく経路指定に関する告示を公布し、同年3月1日から施行され、実現することとなった。

当協会では、経路指定の方法及び遵守すべき事項を取りまとめたリーフレットを作成し、海域利用者に配布するなどによって周知に努めている。

### 3 地域連絡会の開催

地域連絡会を次のとおり開催した。

平成30年7月3日第1回千葉地域連絡会 出席者 89名

平成30年7月6日第1回神奈川地域連絡会 出席者 78名

平成30年7月9日第1回東京地域連絡会 出席者 64名

平成31年2月5日第2回千葉地域連絡会 出席者 76名

平成31年2月13日神奈川・東京地域連絡会（合同） 出席者 124名

### 4 航行安全情報管理事業

国、地方公共団体等の委託を受け、東京13号地に東京航行安全情報管理室及び川崎東扇島に川崎航行安全情報管理室を設置し、また、業務委託契約を締結し、職員を南本牧航行安全管理事務所、臨港道路南北線航行安全情報管理室及び東扇島堀込部工事安全管理事務所にて勤務させ、工事施工海域の周辺を航行する一般船舶と工事関係船舶の安全を図り、事故を防止するため、周辺海域の監視、各種情報の収集・整理・提供、一般船舶及び工事関係者に対する助言・指導等を実施している。

### 5 安全講習会への講師派遣

平成30年9月7日、日本海上機重技術協会からの依頼を受け、安全講習会に講師を派遣した。

### 6 その他の事業

平成30年9月、会報167号を発行した。

---

付属明細書は「事業報告書の内容を補足する重要な事項」が存在しないので添付しない。